



歯周病と診断されたら・・・

まずプラーク(歯垢)を確実に取れるように、歯科医院で専門的なブラッシング指導を受けます。

上手に磨けるようになると、プラークがなくなり歯肉の腫れがひいていきます。

歯石がはっきりと見えるようになるので、歯科医院で歯石を除去します。

腫れも治まり歯肉が引き締まってきます。歯肉が減ったようにも感じられます。治りきらない時は歯周外科手術を行います。手術が出来ない場合は薬を補助的に使うこともあります。

手術後ぐらぐらする歯は固定することもあります。減ってしまった歯肉は元に戻りませんが、しっかり物がかめるようになります。

定期健診でお口のメンテナンスを受けます。1ヵ月～半年に一回ぐらいは歯科医院に行きましょう。

タバコと歯周病の関係

健康な歯肉

タールによる着色
タールなどによる着色で見た目が悪くなったり、プラークが付きやすくなります。また、口臭の原因にもなるので注意が必要です。

ヘビースモーカーの歯肉
ブラッシングは比較的良くプラークが少ないにも関わらず歯槽骨の吸収が大きい。ポケットが深く歯の動揺もあるのが、喫煙者の歯周病の特徴です。

長期喫煙者の歯肉
歯周組織の免疫抵抗力が低下してくるので歯肉が退縮し歯槽骨の吸収も高度に現れてきます。

ニコチンの血管収縮作用によって歯肉がロール状肥厚をおこしている。

全身状態と歯周病の関係

歯周病の直接的な原因は細菌性プラークや歯石ですが、その背景には、全身の病気や遺伝・嗜好・生活習慣などがリスクファクター(危険因子)として関与していることがあります。一方、近年歯周病がいろいろな全身疾患と関わっていることも分かってきました。

